

報告事項 1

教育委員会における決算の概要について

教育委員会における決算の概要について、次のとおり報告する。

令和 2 年 9 月 7 日提出

神戸市教育委員会事務局

事務局長 長谷川 達也

令和元年度各会計決算の概要 (教育委員会所管分抜粋)

神戸市

この資料は、令和元年度各会計決算(見込)の概要を取りまとめたものです。
なお、決算については、監査委員の審査を経て、第2回定例会に提出します。

児童・生徒の学力向上

元年度決算額 3億96百万円

◆ICT環境整備 111,572千円

R3年度までの3ヵ年で全校の普通教室に電子黒板・無線LAN等を整備

◆学校司書の配置拡充 277,406千円

図書を使った調べ学習の支援、読書相談等を行う学校司書について、
小中学校への配置を拡充 (+36校:120校→156校)

◆「スマートスマホ都市KOBE」の推進 7,179千円

依存防止啓発用のアニメ動画を制作し、当該動画を活用した安全教室を小学校高学年を対象に実施

教員の多忙化対策

元年度決算額 5億29百万円

◆神戸市情報教育基盤サービス再構築 469,800千円

さらなるセキュリティ向上・教員多忙化対策として、教員用端末・教育用端末等を更新

◆中学校部活動における外部人材の活用 59,228千円

顧問教員に代わって単独で部活動の運営が可能な外部顧問・外部支援員の配置を拡充

学びの環境整備

元年度決算額 18億90百万円

◆学校給食の魅力向上 891,665千円

- ・ランチボックスのリニューアル等により、中学校給食のイメージ・魅力を向上
- ・中学校給食の抜本改革に向けて、人気メニューの充実や献立内容の改善等を検討
- ・給食レシピ集の発行やアプリ等を活用し、神戸の給食の魅力を発信

◆小学校の過密化対策等 811,838千円

児童数の増加及び校舎の老朽化に対応するため、本校舎・暫定校舎等を整備
(高羽小、垂水小、妙法寺小、山の手小、本山第一小等)

◆学校規模の適正化等 186,772千円

小規模校の課題に対応するため、適正規模となるよう、統廃合により教育環境を改善 等
(ありの台小、本多間小・多間南小等)

療育体制・特別支援教育等の充実

元年度決算額 69百万円

◆医療的ケアが必要な児童生徒の受入体制の確保 69,042千円

- ・ 特別支援学校において、看護師の配置を拡充（16名→17名）
- ・ 小中学校等において医療的ケア支援を行うため、看護師を派遣

II. 健康・安全を守る (5) 災害に強い都市づくり

災害に強い都市づくり

元年度決算額 1億77百万円

◆避難所の環境整備 177,414千円

- ・ 災害時に避難所となる学校体育館等に空調を整備

II. 健康・安全を守る

新型コロナウイルス感染症対策

元年度決算額 77百万円

- ・ 臨時休業期間中の分散登校日における小・中学校給食の提供 等

【参考】令和元年度教育委員会決算額

歳入決算額 212億89百万円

歳出決算額 1,226億75百万円